

# しター

～「みどりの学びのエリア」(三園小・高島三小・高島五小・高島三中)特集～

発行元:教育委員会事務局 地域教育力推進課 地域連携係 TEL3579-2619

「みどりの学びのエリア」(三園小・高島三小・高島五小・高島三中)では、収穫物の販売会や児童・生徒の作品展など様々な取組を昨年度から行っています。今回は、CS委員会での熟議の経緯などをご紹介します。

## 子どもたちが地域に出向いて活動を ～はじめの一步～

高島第三中学校の令和3年度8月のCS委員会において、校長先生が「学校内で生徒が育てた作物などを、子どもたちが地域に出向いて販売することで地域との交流を図りたい。自分たちの作った物が役に立っている、という体験をさせたい」という想いを話され、どうしたら実現できるか、熟議を行いました。新しい試みでイメージの共有が難しい中、「はじめの一步。まずはやってみることが大事」という校長先生の方針が示されました。その後10月の委員会では、地域コーディネーターの委員による進行で活発な熟議が行われ、学校支援地域本部を中心に、町会、PTA、学校開放協力会などに協力を求めることが決まりました。また、令和3年度は高島第三小学校との共同実施とし、成功したら令和4年度は学びのエリア全体で取り組んでいきたい、といった話も出ました。

## 大成功!～子どもたちの感想～

11月の販売当日。子どもたちは自らお客さんに声をかけ、楽しそうに生き生きと取り組みました。用意した品は、1時間半でほぼ完売となり大盛況でした。

○私は今回、自分の呼び込みの才能を知りました。私が呼び込みをしていたら、拡声器を持ってきてくれて、た

くさんのお客さんの呼び込みに成功したので、よかったです。

○自分たちでお店をかまえて商品を売るということが初めての経験でした。商品を売ることは最初簡単なことだと思っていましたが、お客さんに買ってもらうことはすごく大変なことだと分かりました。お客さんに「ありがとう」と言われたとき、やってよかったなと思いました。

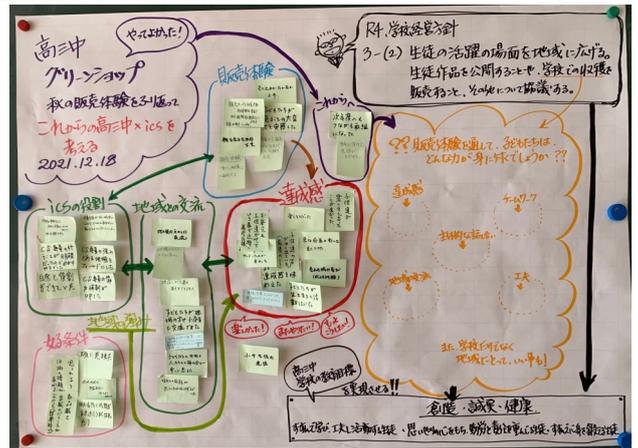
○最初はとても緊張しました。自然科学部の人たちを見て私も大きな声を出して売りました。

○今まで頑張ってきた分、多くの人に喜んでもらえるということが分かりました。この経験を活かし、日々の生活に役立てたいです。



## 熟議での振り返り ～この経験が経営方針につながる～

12月の委員会では振り返りの熟議を行いました。感想を付箋に書き出し、グルーピングを行ったところ、「販売会を通じて子どもたちが身に付けた力」が「見える化」され、「販売体験を通じて子どもたちが地域と交流したことは、“高島平”地域の担い手を育て、地域を持続させる」といった意見に発展し、次年度の経営方針の議論にもつながりました。



## 学びのエリアでの取組に発展

令和4年度は、学びのエリア4校合同で「真夏の収穫物の販売会」を7月に開催しました。炎天下、子どもたちは元気よく大きな声を出して販売に取り組みました。子どもたちからは、「最初は緊張してあまりできなかったけど、楽しかった」「地域の人とふれ合う機会があったうれしかった」「物を売るのは大変だと思った」など、様々な感想が出ました。その後8月の委員会も合同で開催され、子どもたちの体験を次につなげるための熟議が行われました。

## 子ども達の活躍の場がさらに広がる ～児童・生徒の作品展～

さらに11月の委員会では、「子どもたちの活躍の場を地域に広げるため、授業で作った子どもたちの作品を駅に展示したい。街の人々に小中学生の作品への取組、その素晴らしさを知っていただくことで、街との交流を図り街の活性化に貢献したい」という想いが共有され、学校支援地域本部等の協力のもと、令和5年2月に都営三田線の西高島平・新高島平・高島平駅構内で学びのエリア4校合同による作品展示が実現しました。展示ではGoogleフォームを活用して、作



品をご覧になった方の声を集めました。

○駅の色合いが豊かになり、子供たちの作品で街に貢献していると強く感じました。

○子供時代の絵や作品は一人ひとり、今のその子にしか描けない、かけがえのない記録。のみならず、大人に子どもの心を思い出して立ち止まったり勇気付けられたり、今の子どもたちを支えたり大目に見たりしたくなる、貴重なきっかけになると期待！

地域コーディネーター情報交換会を令和4年11月29日(火)・12月2日(金)の2回開催しました。情報交換会の中では中学校の活動事例の紹介を行い、資料「学校支援内容チェックシート」などを区HPに掲載しています。ぜひご利用ください。

